PM-LGSOC-01

300305

□要

□明

PM-LGSOC-01□、低悪性度漿液性卵巣がん（LGSOC）の腹膜転移に由来する細胞株である。この細胞株 □、患者由来異種移植片（PDX）を含む包括的研究モデルの一部として樹立された。PM-LGSOC-01の作製に□ ′ SCID/Beigeマウスに腫瘍スラリーを腹膜下に注入することによる同所移植が用いられ、早期の移植可能腹膜転移（ PM）-PDXモデルにつながった。組織学的解析で□ ′ PM-PDX細胞もPM-LGSOC-01細胞も、LGSOCに典型的な微小乳頭状および篩状増殖パターンを保持しており、腫瘍の出芽、PAX8やWT1などのマーカーの発現が確認された。遺伝子解析の結果、原発腫瘍、 PM、細胞株□KRAS c.35 G > T（p.Gly12Val）変異を共有しており、このモデル□特にMAPK経路との関連において、LGSOCの進行と治療反応を研究するのに適している。

PM-LGSOC-01□、前臨床研究に関連する主要な特徴を示している。この細胞株 □、継代初期に□約42時間の倍加時間を有し、培養後期に □23時間に減少し、100回以上のin vitro継代が維持されている。この細胞株 □、上皮様組織と高い細胞間接着を有する上皮形態を示す。しかしながら、白金ベースの化学療法に□限定的な反応を示すが、パクリタキセルに□高い感受性を示す（IC50：6.3±2.2nM）。さらに、PM-LGSOC-01□ ′ in vitroおよびin vivoの両方で、MEK阻害剤トラメチニブ（IC50：7.2±0.5 nM）に対して特に感受性が高く、これ□KRAS変異が治療反応に及ぼす影響を反映している。

PM-LGSOC-01□ ′ LGSOC、特に薬剤耐性、腫瘍原性、MEK阻害剤のような標的治療薬に対する感受性を調べるための貴重なツールである。高悪性度漿液性卵巣がん（HGSOC）と比較して、LGSOCの従来の化学療法に対する反応性が低いことを考えると、低悪性度漿液性卵巣がんに対する個別化治療アプローチの開発における PM-LGSOC-01の使用□極めて重要である。

ティッシュ	卵巣
病気	低悪性度漿液性卵巣がん
転移部位	腹膜

同義語

- M28/2

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
倍増時間	42時間

識別子

引用

PM-LGSOC-01（サイシオン カタログ番号 300305）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_xx32

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

変異プロファイル

KRAS c.35 G > T (p.(Gly12Val)) 遺伝子変異

取り扱いと飼育

培地

EMEM（MEM Eagle）、w: 2 mM L-グルタミン、w: 2.2 g/L NaHCO3、w: EBSS（Cytion論文番号820100a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSと1% NEAAを添加する。

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した細胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコで□3-5ml、T75フラスコで□5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコで□1-2ml、T75フラスコで□2.5mlのアキュターゼで細胞を完全に覆う。室温で 8-10分間インキュベートし、細胞を剥離させる。インキュベーション後、細胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、細胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1×10^4 細胞/cm^2

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染□、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 □毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として□、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また□回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存□、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株□、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	60年

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

第三者との契約が適用されます	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB